

【令和6年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 蓮根第二 小学校

○…良い点 ●…課題点

【総合的な学習の時間】

■児童の状況	○芝生や学校の自然及び地域環境について疑問に思ったことを考えたり話し合ったりすることができる。 ○他教科で学んだことを生かして、学習に取り組んだり考えたりする児童も見られる。 ○興味・関心をもち、積極的に学習に取り組んでいる。 ●課題解決に向け、自ら見通しをもったり、学習を計画したりすることに慣れていない傾向がある。 ●集めた情報を多様な観点で分析したり整理したりすることには課題が見られる。 ●友達と協力して学習に取り組む姿が見られる一方で、互いの考えを交流する中で考えを深めたり構築したりしていくことには慣れていない。コロナ禍を通して、話し合う力については低下傾向にある。 ●学習を通して、自らの生活や行動について振り返り、自身の生活に生かしていけるように意識を育てていく必要がある。 ●学習内容が形骸化している傾向がある。
■指導についての課題	・児童が自ら課題をもち、課題に対して見通しをてるようにする。さらには課題を深めていけるように思考を促し、学習を展開したり指導方法を改善したりしていく必要がある。 ・児童同士の考えを交流できるような指導方法を明らかにする。また、教師は授業において児童の思考を分析し、学習を展開する必要がある。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・課題を見つけるために、児童の中に生まれた「知りたい」「調べたい」という思いや願いを活かした学習活動を行う。さらに課題に対して見通しをもったり学習計画を立てたりする時間を設定する。 ・情報を集めるための多様な手段を身に付けていけるように指導していく。目的をもって調べ学習を行えるようにする。さらには、インタビュー活動等、人との関わりを意識した情報収集も位置付けていけるようにする。 ・協働学習を活用し、友達との関わりの場を学習の内容に合わせて取り入れる。さらには互いの考えを交流する学習を位置付ける。 ・振り返りを活用し、自分の変容に気付けるようにする。また、次時の学習を児童自らが設定できるような授業づくりを展開していく。 ・教師は単元開発にすすんで取り組み、児童が主体となって取り組む授業作りを発信していく。